

5. 浜田漁港の目指すべき姿と取組方針

5-1. 将来のあるべき姿

浜田市では水産業が重要な基幹産業であり、浜田漁港の水産物が消費者に信頼され、全国的に通用する競争力を強化することが求められる。また、水揚量を維持・増大し、水産物の高付加価値化を推進することにより活力ある水産業が展開されることで、周辺地域にもその賑わいが波及し、浜田漁港が周辺地域の観光の核としての役割を担うことが期待される。

そこで、浜田漁港の将来ビジョンを次のように設定する。

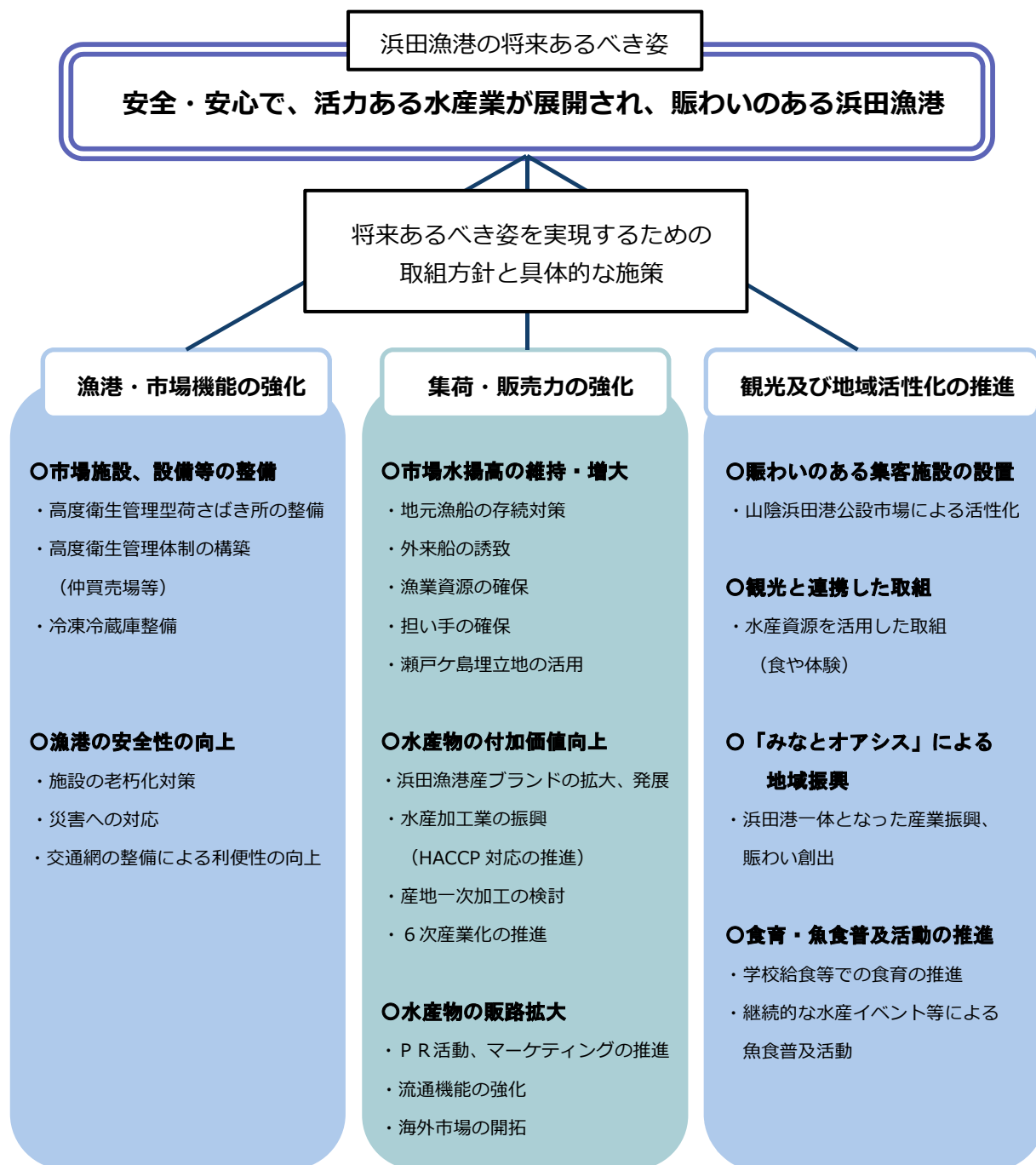
計画期間は、2020 年度（令和 2 年度）から 2025 年度（令和 7 年度）までの 6 年間である。

浜田漁港の将来のあるべき姿



5-2. 浜田漁港周辺エリア活性化計画の体系

将来ビジョンを実現するために、取組方針として3つの柱を設定し、それぞれについて具体的な施策を推進する。



5-3. 取組方針（3つの柱）

漁港・市場機能の強化

- **市場施設・設備の更新の取組と、安全性の向上の取組**を一体的に推進し、消費者ニーズに対応し、将来にわたり競争力を持った足腰の強い水産業を支える浜田漁港を実現する。
- **高度衛生管理型荷さばき所の整備を推進**し、水産物の陸揚げから加工・流通・小売まで一貫した衛生管理水準を確保する。また、荷さばき所の整備に合わせて、冷凍冷蔵庫の整備や輸送体制の拡充、HACCPの推進によって、水産物の処理能力を質的、量的に向上する。
- **既存施設の老朽化に対応するとともに、災害への備えを考慮**した漁港機能の強化に向けたインフラ整備を推進する。

集荷・販売力の強化

- 地元漁船の存続、外来船の誘致、漁業資源の確保及び漁業の人材確保により、**水揚量の維持・増大**を図る。また、漁業生産者、仲卸事業者が連携して集荷力と販売力を強化し、魚価の向上に向けた対策を推進する。
- ハード・ソフト両面から、**浜田漁港における水揚量の確保と流通力**を高め、①良い魚が水揚げされる→②水産物が売れる→③浜田漁港の魅力が向上する→④水揚げが増える、という「**正のサイクル**」を生み出す。

観光及び地域活性化の推進

- 市民や観光客に四季折々の浜田の海の魅力を伝えることを通じて、**共感の獲得、交流人口の拡大、経済効果の獲得**に向けて取り組む。
- 将来にわたり活力ある「海のまち浜田」を実現するために、市民が海の恵みの中心である「**浜田の魚**」を大切にし、**楽しみ、活かす価値観や行動を促す**。
- 海の生業や四季折々の多様で新鮮な魚介藻類との出会いを通じて、浜田漁港周辺エリアを、浜田の魚・浜田の海に対する**ファンづくり**につなげる場にする。
- 市民参加を通じて、市民生活の中にある魚食文化や海とのつながりを強化し、次世代に引き継いでいく。